

指定校番号	28043	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立郷田小学校	校長	兒玉 伸泰	生徒指導主事	西宮 利三
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『キラキラカード』

取組のねらい 『笑顔があふれ安心して生活できる学校』

・友達の良さを見つけ、お互いを認め合い、安心して学び合う人間関係を築き、自己有用感を高める。

取組の具体的内容 『全校児童 キラキラサイクル』 『児童会 やりきる』

- ① **児童会** 計画 ・年2回(6月～7月・1月～2月)「いじめ・体罰アンケート」とリンクさせて実施する。
 ・キラキラカードを書いてもらい、集約する。
 ・目標枚数を設定する。(前期600枚・後期800枚)
- ↓
- 準備 ・学年カラーのキラキラカード・教室掲示用呼びかけ文・キラキラポストなど
- ② **児童会** 全校放送で、全校児童に呼びかけた後、呼びかけ文を持って各教室を回り、直接呼びかける。
- ③ **全校児童** キラキラ(友達の良いところ・してもらってうれしかったこと・いいなと思う言葉)を見つける。
- ④ **全校児童** キラキラをカードに書いて「キラキラポスト」に入れる。
- ⑤ **児童会** 給食準備時間に毎日枚数を数え、特設の掲示板に掲示する。(放送カード専用掲示板も用意。) その日に集まったカードの中から、望ましい内容のカードを数枚選んで給食時に放送する。放送の最後に一言コメントをつける。
- ↓
- ⑥ **全校児童** 全児童は、掲示してあるキラキラカードを読む。
- ⑦ 期間中③～⑥を繰り返す。
- ⑧ **児童会** キラキラ月間終了後、全校朝会で集まった枚数を報告、自分達の感想や意見を発表する。

取組の課題・創意工夫 『横に縦に』

『横に縦に』
 ・今年度は、キラキラカードが学年を越えた取組になるように、児童会が意図的に多様な視点での「良さ」が書かれたカードを校内放送で紹介したり、校内掲示を工夫したりした。

取組の成果(効果) 『キラキラの連鎖』 『主体的に』

『キラキラの連鎖』
 ・キラキラカードを書くことを通して、相手から認められている意識が高まり、相手を思いやる気持ちが育った。
 ・低学年が、高学年のことを尊敬する内容や高学年が低学年の頑張りを認める内容が増え、自己有用感を高めることができた。
 ・互いに認め合う活動の積み重ねから、人を傷つける言葉やからかいの言葉が減少し、落ち着いて行動できる児童が増えた。

『主体的に』
 ・児童会から始めた活動が、学年や学級に広がり、学校全体での取組に広がった。

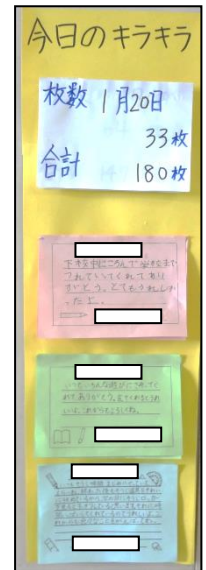
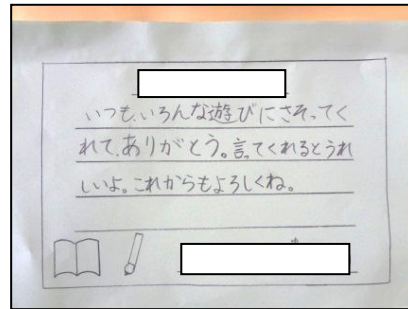
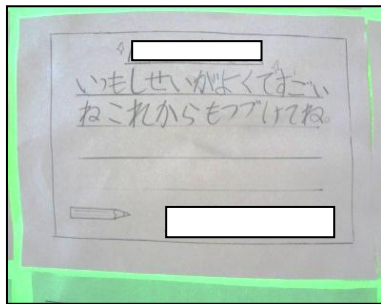
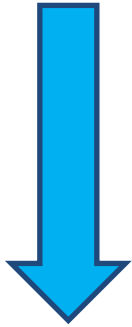
今後の展開 『笑顔を自信に』

・今後も継続して「良さを見つけられる自分」、「良さを見つけてもらった自分」を自覚させ、友達とのつながりを意識した行動ができるように発展させることで、さらに自己有用感を高める。

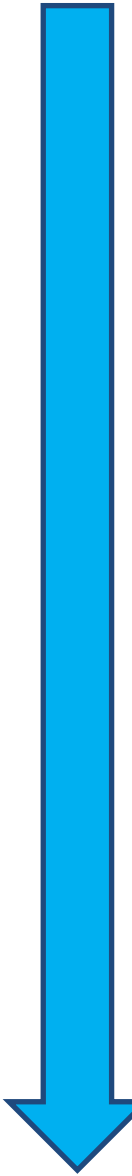
他校へのアドバイス 『シンプル』

・自分のやるべきことがはっきり分かっているシンプルな活動にし、無理なく続けられる活動にする。
 ・誰もが「喜び」や「達成感」を感じることができ、「やってよかった」と思える活動にするために評価の工夫をする。

キラキラカード
【〇〇さんへ・〇〇より】



キラキラカードの掲示・放送



全校への報告